

令和5年度 新温泉町の教育に関するアンケート概要報告（保護者版）

発行：新温泉町教育委員会

新温泉町教育委員会では、令和4年度から令和8年度までの5年間の計画として、「第3期 新温泉町教育振興基本計画」を策定しました。

そこで、本計画の進捗状況や今後の教育の参考にするため、下記のとおりアンケートを実施しましたので、概要を報告します。なお、各種委員会等にも報告をし、よりよい教育に向け協議を進めていきます。

（※別に住民へのアンケートも実施しましたので、項目によっては合わせた分析をしています）

【アンケートの概要】

- 1 対象： 認定こども園、小、中学校の保護者
- 2 期間： 令和5年10月12日（木）～10月31日（火）
- 3 方法： QRコードを読み取って回答
- 4 内容： 教育全般に関する内容
- 5 回答数： 認定こども園110件、小学校139件、中学校73件

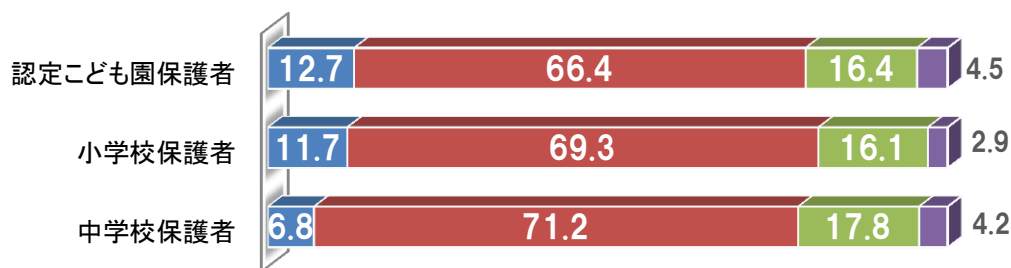
【本アンケートの問合せ先】

新温泉町教育委員会こども教育課
（電話）0796-82-5627

町から発信される教育に関する情報は、わかりやすいですか。

■ わかりやすい ■ ふつう ■ わかりにくい ■ その他

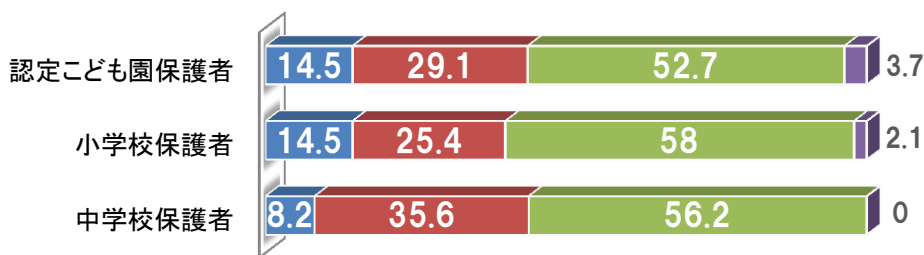
単位：%



町から発信される教育に関する情報の媒体は、どのような媒体を望めますか。

■ 紙 ■ デジタル ■ 紙とデジタルの両方 ■ その他

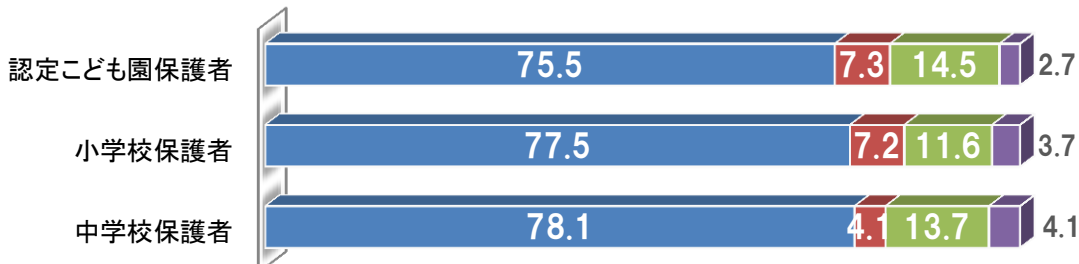
単位：%



学校への欠席連絡について「マチコミ」を利用したり、アンケートを今回のようにICTを活用したりすることに賛成ですか。

■ 賛成 ■ 反対 ■ どちらでもない ■ その他

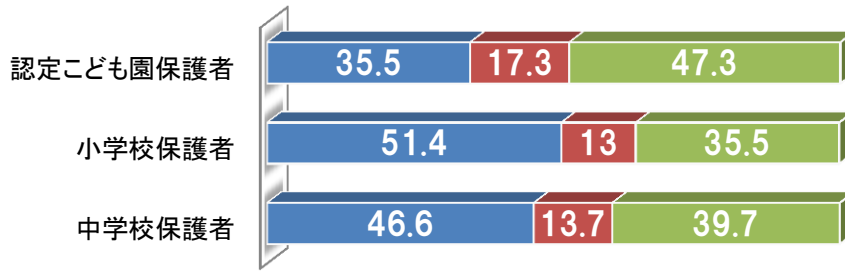
単位：%



子どもの人口が減っていることで子育てに影響は出ていますか。

■ 出ている ■ 出していない ■ わからない

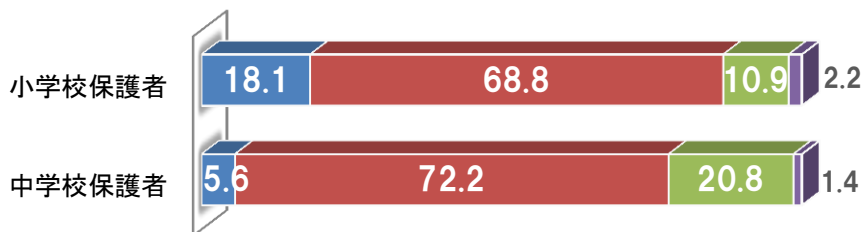
単位：％



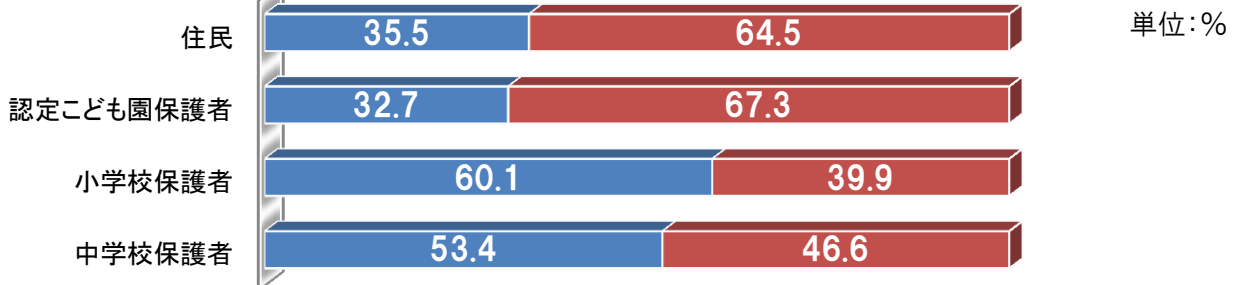
町の教育全般について満足していますか。

■ 満足 ■ ふつう ■ 不満足 ■ その他

単位：％



地域と学校が連携した「コミュニティ・スクール」について、今年度から町内のすべての小中学校で実施していることを知っていますか。



単位：％

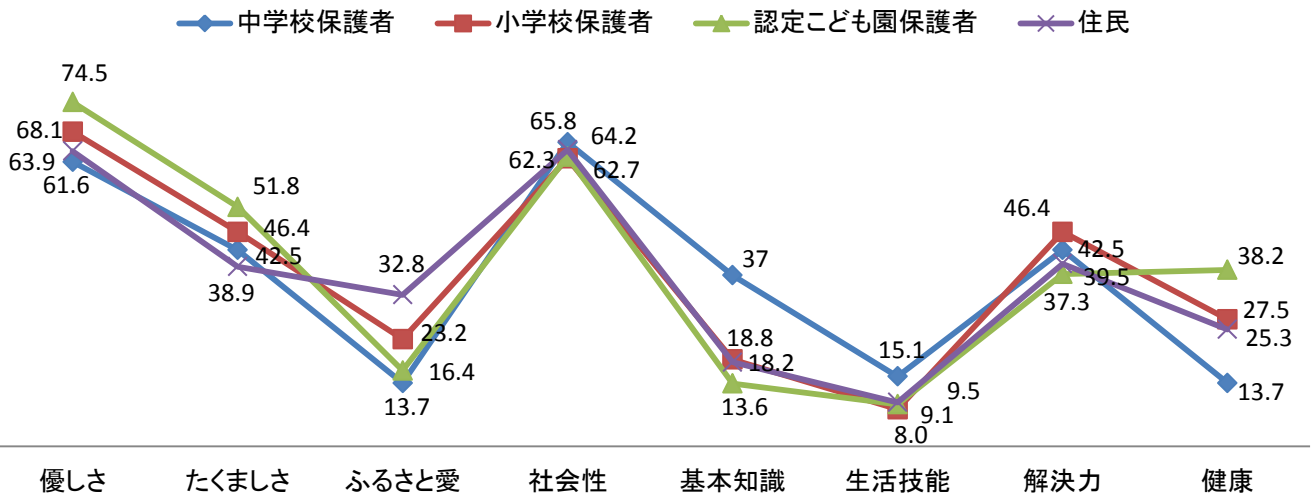
《身につけてほしい力》

新温泉町教育委員会では、子どもたちに身につけてほしい力を地域と共有したいと考えています。そこで、子どもたちに特に身につけてほしい力について回答ください。（3つまで）

- 優しい心（相手を思いやる心や、困っている人を助けようとする心など）
- たくましい心（何事も最後までやり抜こうとする心や、逆境でも努力していこうとする心など）
- ふるさを大切にできる心（地域の文化を大切にしたり、ふるさとの課題に取り組んだりする力など）
- 礼儀などの社会性（あいさつができる力や、社会のルールを守る力など）
- 基本的な知識（学校の教科等で学ぶ基礎的な知識など）
- 生活に役立つ技術（物を作ったり料理ができたりする力など）
- 課題を解決する力（思考力や判断力、表現力など）
- 健やかな体をつくる力（基本的な生活習慣を維持したり運動に取り組んだりする力など）
- その他（ ）

身につけてほしい力

単位：%



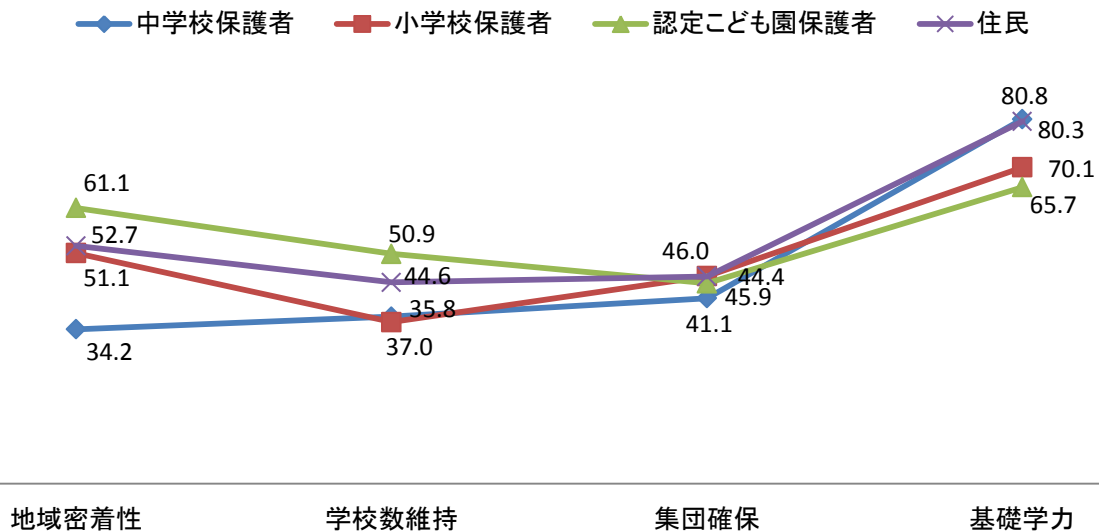
《学校規模を含めた学校のあり方等について》

町内の学校のあり方について特に大切にしたいことは何ですか。（3つまで）

- 学校が身近にあり、地域と密着した学校であること
- 少人数であっても、交流学习等をしてしながら、できるだけ現在の学校が維持されること
- ある程度の人数が確保され、集団での学びが維持される学校規模であること
- 基本的な学力など、子どもたちの「生きる力」が確実に身につけられること
- その他（ ）

学校園のあり方

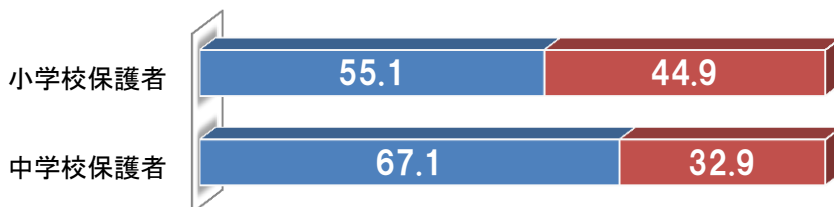
単位：%



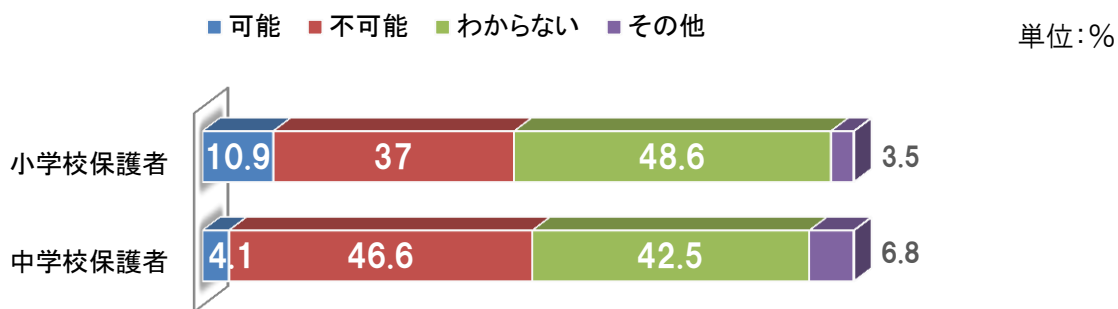
全国的に部活動に関し、休日の地域移行が議論されていることを知っていますか。

■ 知っている ■ 知らない

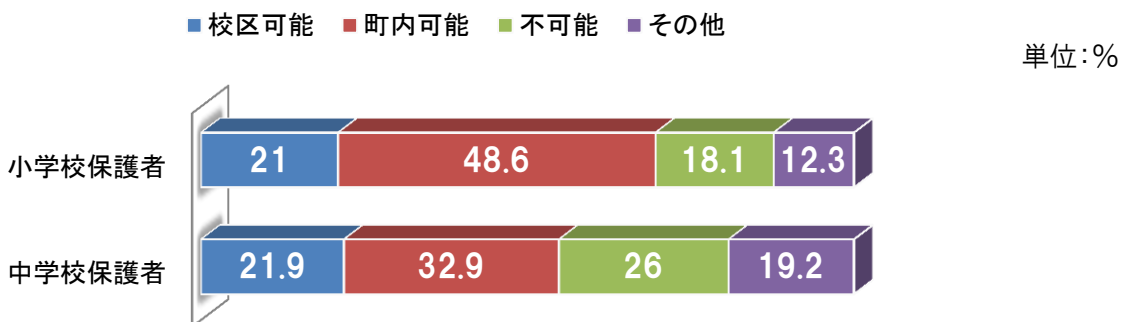
単位：%



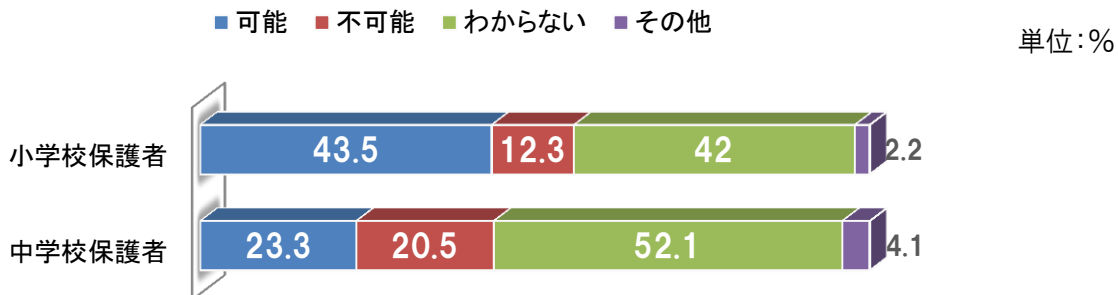
部活動が地域移行された場合、指導者やボランティアで協力することが可能ですか。



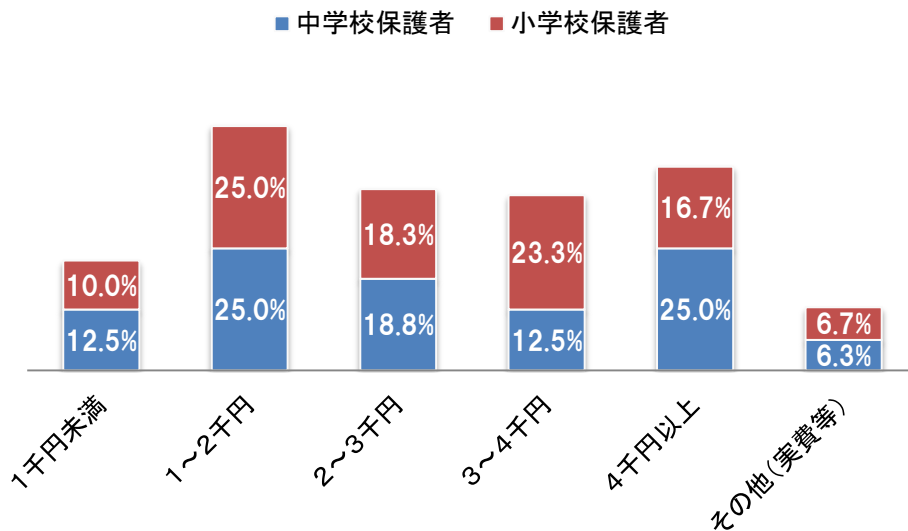
部活動が地域移行された場合、お子さんの送迎は可能ですか。



部活動が地域移行された場合、運営費等で費用を負担することは可能ですか。

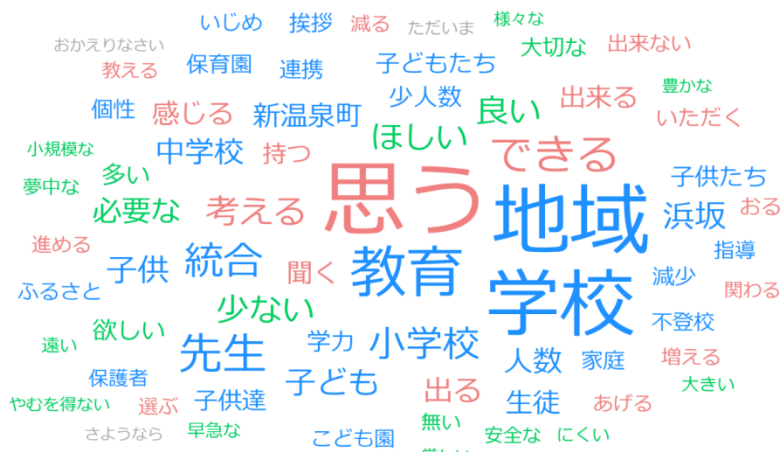


「可能」と答えられた方は、一か月あたりいくらの金額が妥当と考えますか。

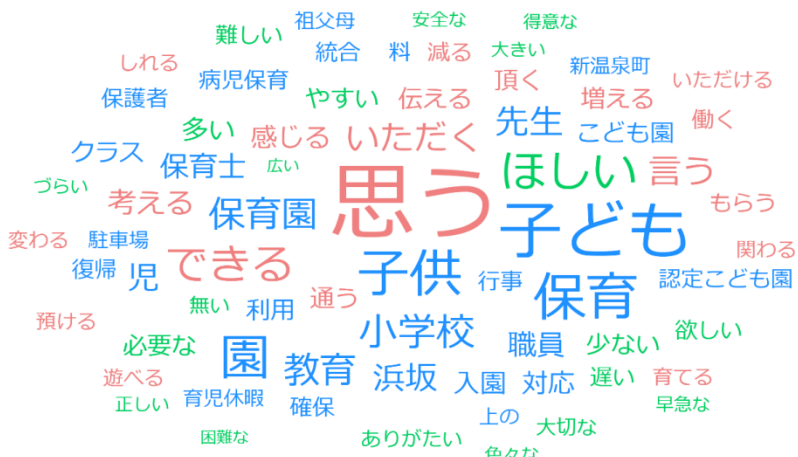


「自由記述」のキーワード頻度別図（※自由記述にあるキーワードを多い順に大きな文字で示しています。）

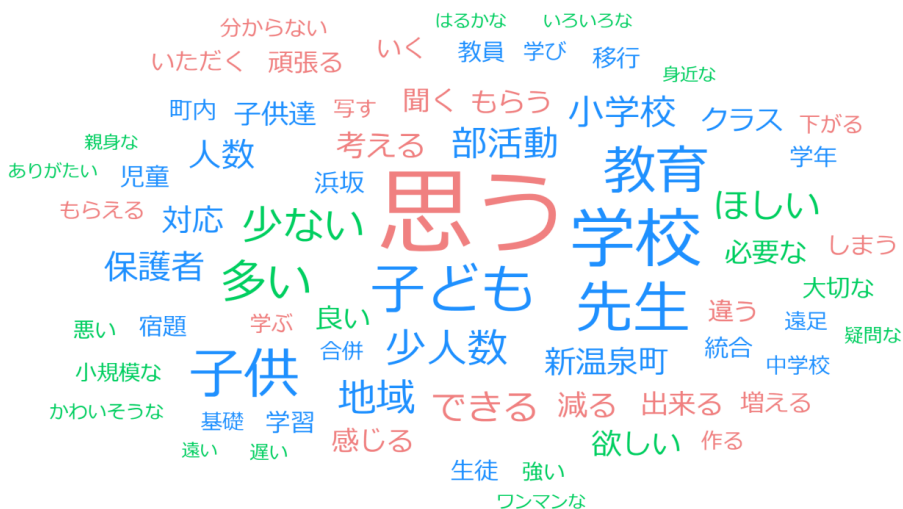
【住民】



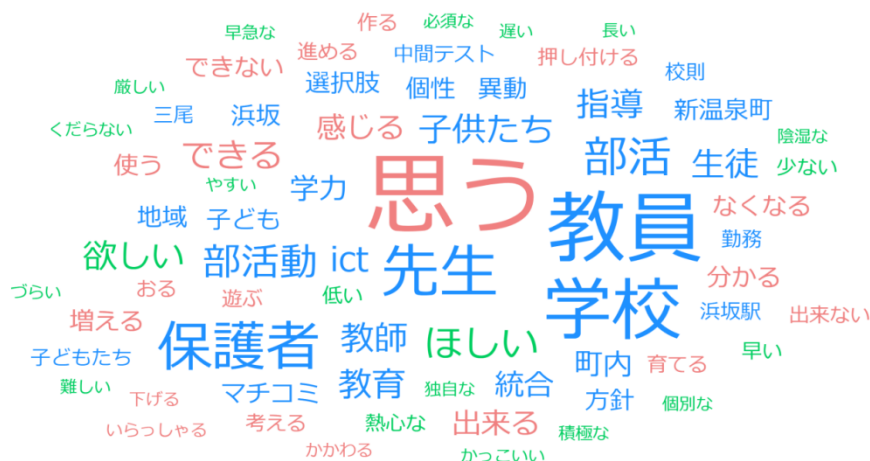
【認定こども園保護者】



【小学校保護者】



【中学校保護者】



自由記述より抜粋

【住民】

- ・子どもが通っている小学校は少人数だからこそ、先生の日も届き豊かな教育を受けられていると感じている。地域との繋がりも大切にしてくれている。
- ・学校を通して配布される案内や教育に関する資料は、なるべくネットに載せてほしい。子供がいない家庭は教育に関する情報が入らない。
- ・故郷が子供たちに魅力あるような発見出来る工夫を教育では出来ないだろうか？
- ・道ですれ違ったりするときに、挨拶をするおさんがいる事は、心温まる。
- ・生徒数が減少しているのに、早めの統合計画や、閉校した学校の跡地の活用など気になります。
- ・他地域から新温泉町の学校に通わせたいと思われる学校を期待する。
- ・存続に向け地域一体で良い活動をめざし盛り上げていく必要がある。
- ・地域から子どもの声が消えた。子どもが通学する姿が見えない。学校が地域から遠ざかっているように見える。

【認定こども園保護者】

- ・保育士さん、大変な仕事だと思います。もう少しお給料を上げるなり、人材を多めに確保するなど、現場の声にも耳を傾けて、働きやすく、預けやすく、子どもがのびのびと過ごせるこども園であってほしいです。
- ・働いている親が多数で細かい所まで気付かないこともありますので、子どもの安全に関わることであれば小さなことでも教えていただけるとありがたいです。"
- ・発達がゆっくりな子や発達障害の子に対する園での理解などが必要なのではと思います。先生たちの理解も含めて。新温泉町内には療育施設が無いようなので、豊岡か鳥取まで通うと聞きました。仕事の都合で通いたくても通えない方もいるようなので、難しいかもしれませんが検討していただきたいです。
- ・旧浜坂町内に小学校4つも不要。早期に統合してほしい。保育施設の存在はありがたい。病児保育の確保、土曜保育の充実
- ・小さい園、小学校でいいと思います。
- ・小学校の児童数が減少していて10年後の存続が難しい小学校もあるので出来るだけ早く統廃合を検討して行くべき

【小学校保護者】

- ・教育面では宿題が多い学年と少ない学年の差がある。人数が少ない所を生かして個々のレベルに合わせた宿題や授業をしてもらえたらと思います。
- ・やりたいこと(部活)さえも自由に選択出来ないのは子どものやる気や努力すること、達成感を奪っていくように思え、不安でしかない。
- ・基礎学力、基礎体力を重視した教育をしてほしい。
- ・子どもの人数が減っていった中で、小学校の統合を明確に視野に入れ、今日の教育を考えて欲しい。
- ・通学バスの距離基準の見直しをしてほしい。今と昔では気候も子供の数も獣の出没状況も全く違う。子供の数が減っている中、特例を作るか3km基準を変更するかして、単数や少人数の登下校を無くし安全に登下校出来るようにしてほしい。(バス料金の無償化も)
- ・6時でも暗いのに、街灯も少ない所を帰るのでなんとかしてほしいです。
- ・先生方にはとてもよくみてもらっているので、大変ありがたい。子どももののびのび楽しそうです。小規模校ですが、地域での学びも多く、家庭ではできないことも多く経験させてもらい、これからも継続してほしいです。

【中学校保護者】

- ・不満もあるが、子供たちのために授業や部活で頑張ってくれている事に感謝している。早朝から夜遅くまで昼休憩も満足に無い勤務など大変だと思う。厳しい労働環境が改善されることを願う。
- ・不登校児に色んな選択肢を与えて欲しい。
- ・もっとICT環境の充実を
- ・部活動の地域移行を早くしてほしい。運動部以外でも地域の文化活動など色々と経験できることは多い。
- ・指導方法など教員同士で確認し合うなどして、ブラッシュアップする機会が必要と感じる。

- ・もっと、学校の授業でタブレットを使ってほしい。家に持ち帰ってどんどん宿題もデジタルでやらせてほしい。
- ・ICTとか、タブレット教育とかいう前に、人間を育てるアナログな作業を大事に考えて下さい。
- ・中学の自転車通学ですが、天候の悪い日等は、自費でよいので、バスなどの公共交通機関も利用可能にしてほしい。利用者が増えて、経済効果もあるのではないのでしょうか。

少子化の影響の自由記述より抜粋

【住民】

- ・秋祭りの子供神輿が休止状態になっている事や地域の活力がない。
- ・地区神事(祭りや盆踊り)、行事の参加人数の減少。子供のいない地区も出てきている。
- ・地域に活気がない。あいつもこども達が元気に返してくれるとうれしい。こども達の声が聞こえると活気づくとの声をよく聞く。
- ・子育て世帯も減っているため子育て世帯が行うボランティア等の負担が大きい
- ・団体組織と子供との交流事業ができない
- ・一緒に勉強したり、外で遊ぶ友達がいない。
- ・同世代が少ないとの理由で若い世代の他地域流出も多い。

【認定こども園保護者】

- ・同世代の子供が近所におらず、園以外で関わる機会がない。
- ・球技大会等がなくなりスポーツに接する機会が減少している。
- ・近所に子供がいないので家にこもることが多くなり、体力が落ちる。すぐに疲れたと言う。
- ・近所に友達がいないので、外遊びや体を動かすことが少ない。
- ・役員のなり手も少なく、毎回何かしら役員になり、強制的に参加させられる講演会など何度もあり、困る。
- ・近所に同年代の子供がいない。公園も老朽化しているが、子供の数が少ない為直してもらえない。

【小学校保護者】

- ・子供が減ることによって選択肢が減っている。スポーツさせるにも人数が足りずに断念しなければならない等、子供の可能性を狭めている。
- ・クラブ活動やスポーツクラブなどの選択肢が少ない。
- ・近くに遊ぶ子がいないので、親が送り迎えをしないといけなかったり、遊べない日は家でゲームしたりとなる。
- ・地域でも同じような年齢が少なくなり、こどもたちが遊ぶ機会が減っている気がする
- ・少人数校が増えていること、それぞれの学校によきはあるのに、人数だけを見て統合案を出されていること
- ・役員など保護者の負担が増えている。
- ・軒数が少ないと親の出番が多い。仕事の都合で親全員がいつでも手伝えるわけではないし…。

【中学校保護者】

- ・部活動なども部員不足で選択肢が少ない。
- ・近所に友達がいない
- ・地域の行事に影響が出ている
- ・イベント企画の際、人数が集まらない
- ・行事の制限や2クラスにはなれないので1クラスの人数が多い
- ・高校の門が広がっているから、学力が低くても入学できると思っている。
- ・部活が維持できなくなっている。少人数でクラスのメンバーも変わらず多様性の中でいろいろな価値観に出会う機会がない。
- ・登下校が1人になる。安全の為保護者の送迎が必要なことが生じる
- ・人数の減少により、登下校の汽車待ちの時間に1人となり、祖父母の送り迎えが必要